

第10回企画委員会議事要旨

日時 2019年10月24日(木) 19:00～21:00

場所 日本財団8階第805会議室

出席者

(企画委員会委員)

駒村委員長、有村委員、池田委員、丸物委員

(上記以外の出席者)

日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

(モデル事業への参入の動きがある地域について、日本財団から説明)

- 本プロジェクトで検討している就労支援策の効果を実証するためのモデル事業を、2020年春からいくつかの地域で実施することとしているが、各地から問い合わせが多数寄せられている。本日は、具体的な動きがみられる10地域(北海道、千葉、東京、静岡、福井、京都、大阪、奈良、鹿児島、沖縄)について説明する。
- 事業の対象範囲、実施体制、自治体の経費負担、自治体の関与形態といった視点で、各地域の取組状況を整理した。
- 地域ごとに特色がある。10地域で10パターンあると言ってよい。ただ、どの地域も、ある視点で高評価だが別の視点で低評価となっている。すべての視点で合格ラインに達した地域が、まだ見あたらない。
- 今後は、合格ラインに近い地域から重点的に助言を続け、早期の事業実施が実現できるよう努めていきたい。

(意見交換)

- 実施体制が弱いところにはその強化を、自治体の関与が薄いところには自治体の関与を促すなど、こちらから働きかけていく必要がある。
- 合格ラインに達しそうな地域を早めにピックアップして、めりはりの利いた働きかけをすべし。